

東灘区会

東灘区新入会員歓迎会

生4-東 廣川幾雄

東灘区会では毎年新人歓迎会を5,6月の例会にあわせて実施している。今年は6月の例会日である17日に行われた。

毎回市内を軽く散策してから適当な宴会場で昼食会というのがここ数年の例であったが、今年は東灘区をはなれ相楽園見学ということにした。

午前10時相楽園門前に26名が集合したが、その中に「すこやか手帳」を持たない人(65歳以下)が3名も居るのには驚いた。なお、本部から増金理事がこの会のため

に遠路はるばる参加された。

相楽園は明治18年に小寺氏の私邸として建設された市民には馴染み深いところで今さら説明することもないが、よく手入れされた庭園を1時間ほど自由に散策して次の目的地パレスホテル神戸へ向かう。ここで待っていた7名と合流して33名で11時30分から6月の定例会を行う。案内された大部屋にわ東灘句会様とあったのに大笑い。電話で予約したとき



に先方が早合点したものだらう。

川柳名人のあきひろ氏が居たら早速一句ものにしたであろうが、残念ながら所要で欠席ということで誰からも一句も出なかった。

まず新入会員4名の自己紹介、引き続き6月の実施事項、7月のボランティア実施予定などの議事を手早くすませ予定通り12時から昼食会。軽く乾杯の後、かなり豪華な会席膳をいただきながら和やかな会話が弾み、時のたつのも忘れるほどであった。最後に昨年からの毎月唱和している東灘区会の歌を有志一同が唱和してお開きとなった。

灘区会

灘区の7月度活動報告

灘区会会長(国8)福田 望

前回の情報ぎやらりー誌(42号)の灘区会レポートはさぼってしまい、区会員の皆様に申し訳ありませんでした。

かねて、総会も終り本部役員も新鮮な人事でスタートをきりました。私たち区会も南八幡会館で第一回の会合をもち、新入会員の紹介、区会活動の現状と今年度の取組など話し合いました。

楽しくなければ“わ”じゃないよー。を合言葉に7月1日(火)兵庫津の道七福神めぐりのウォーキングを企画。女性3名を含む10名の参加で、梅雨の合間の好天に楽しい汗をかいて交流しました。このコースの名ガイド、福祉7期の嶋岡氏がスタンプラリーで説明。神戸港発祥の兵庫運河周辺は歴史探訪にふさわしい神社寺院が多く、平清盛塚、琵琶塚、兵庫大仏など改めて兵庫津の道の魅力にひかれた1日でした。ウォーキングの後は慣例の会食で、地下鉄中央市場駅の高級寿司店でおまかせコースで乾杯、腹も値

段も満腹でした。行き慣れない寿司屋は必ず値を確かめて注文するよう悟った次第です。皆様お疲れさまでした。8月の企画は暑さに負けないソーメン流しか飯盒炊飯でもやろうとおもっています。

北区会

新会員と北区会役員との歓迎交流会

北区会会長(国8)佐伯義昭

平成20年6月2日(月)しあわせの村 研修館大会議室で新会員14名迎えての「新会員歓迎交流会」を実施しました(当日参加者総数33名)。平成20年度の新会員数は52名で出席者14名と云うのは寂しい気もするが返信による欠席者の回答多数は「当日ボランティアに出かける人たちやグループ行事など」諸事情による理由でした。

わ”本部から加藤勇治理事長を迎え、定刻9:30に始まりました。理事長からは北区会は“わ”の中で会員の中で会員数大派閥の地域で皆様に「地域の人達との交流や会員相互の交流など」でのボランティアランティア活動に期待する

ものが大であるとの挨拶があった。

その後、北区会の平成19年度の事業実績と平成20年度の事業計画などの発表や北区会役員の自己紹介をすると共に「神港園」、「花山梅林会」、「へ音記号」グループの各リーダーが最近のボランティアの活動状況を発表した。

そして「コーヒープレイクタイム」では、会員相互の話も弾み、少し和やかな雰囲気ともなり、新会員各位の自己紹介を行いました。新会員の中で、既に多くのグループに所属してボランティア活躍をされている方もいました。頼もしい限りだと思いました。新会員の中から5名の新役員も選出しました。そして和やかな交流会も目的を終え、散会しました。



新会員歓迎交流会